

TETSU-TO-HAGANÉ

鉄と鋼

Journal of The Iron and Steel Institute of Japan

主 要 目 次

随 想	
日本の将来と技術.....	185
論 文	
ソリューションロス反応における炭酸ガスの有効拡散係数.....	187
固液平衡温度における δ -鉄中の Mn および Si の活量.....	196
熔融 Fe-Mn 合金の 1833K における熱力学的活量.....	206
Fe 移行時の溶鉄-スラグ間の界面張力に関する一考察.....	215
交流 4 端子法によるフッ化物を含む ESR 用フラックスの	
電導度の測定.....	225
エレクトロスラグ溶解用フラックスの電導機構に関する	
研究.....	232
部分炭酸化による生石灰の吸湿抑制について.....	240
角-ダイヤ、角-オーバルおよび丸-オーバル圧延方法に	
おける変形・負荷特性とその計算法.....	250
単純せん断による鉄単結晶の塑性変形.....	260
種々の熱処理組織を有する炭素鋼 (0.13~0.41% C 含)	
の疲労特性.....	268
準安定および安定オーステナイト鋼の疲労挙動.....	278
オーステナイト・ステンレス鋼の水素損傷におよぼす	
金属組織の影響.....	288
改良フェールジスルホン酸法による排ガス中の低濃度窒素	
酸化物の定量.....	297
技 術 報 告	
ボイラ主蒸気管用 1Cr-1Mo-1/4V 鋼の高温強度の改善.....	303
1Cr-1Mo-1/4V-B 耐熱鋼の高温特性と溶接性.....	310
技 術 資 料	
冷間圧延における潤滑の最近の理論と進歩.....	317
解 説	
最近の設計コードに係わる高温強度の問題点	
—クリープと疲労との相互作用について—.....	331
委 員 会 報 告	
第 5 回および第 6 回共通高温引張試験結果について.....	338

NO. 2
VOL. 64
FEB. 1978

社 団 日 本 鉄 鋼 協 会
法 人

The Iron and Steel Institute of Japan

Price:

¥1500 per copy excl. postage

Keidanren Kaikan, 9-4, Otemachi-1-Chome

Chiyodaku, Tokyo, Japan